

高橋 良久 (Yoshihisa TAKAHASHI)

学位： 博士（文学）

略歴：

東京学芸大学大学院修士課程修了

国学院大学大学院博士課程後期修了

専門分野： 日本語学・国語教育

研究課題： 日本語の変化

【著書】

- ・『生徒の読んだ羅生門』（溪水社，2007. 3）

【論文】

- ・「古文教授方法論③ ——補助記号の使用とレイアウトの工夫による古文学習」（『愛知文教大学論叢』第21巻 2018年11月）
- ・「ICTを活用した絵巻物による古文指導」（『愛知文教大学教育研究』第8巻 2018年2月）共著
- ・「古文教授方法論② 『二つの叙法』 ——古文学習への導入」（『愛知文教大学論叢』第20巻 2017年11月）
- ・「野上弥生子・岡本かの子・網野菊の『みたようだ』『みたいだ』（『愛知文教大学比較文化研究』第14巻, 2016. 11）
- ・「『みたいだ』覚書（『愛知文教大学論叢』第19巻, 2016. 11）
- ・「有島武郎・有島生馬・里見弴の『みたようだ』『みたいだ』（『愛知文教大学論叢』第18巻, 2015. 11）
- ・「有島武郎・有島生馬・里見弴の『みたようだ』『みたいだ』（『愛知文教大学論叢』第17巻, 2014. 11）
- ・「忽せ（ゆるがせ）の危機」（『国語研究』76号, 2013. 2）
- ・「『獵奇』という言葉」（『解釈』57巻11・12集, 2011. 12）
- ・「動詞『うつろう』の新しい形」（『国語研究』75号 2011年3月）
- ・「『中世王朝物語』における存在詞『ものしたまふ』と存在詞『わたらせたまふ』（和泉書院『日本語最前線』, 2010. 5）
- ・「音楽用語「長調」「短調」の出自」（『国学院大学紀要』48巻, 2010. 2）

【その他】

- ・「句読点の力」（「小牧市市民講座」2016年11月、まなび創造館）
- ・「日本歌曲の流れ」（愛知文教大学公開講座 2016. 5）
- ・「伊勢物語を読む」（愛知文教大学公開講座, 2014. 11）

【研究テーマ】

エッ？本当？と驚いたとき思わず口にするこは「嘘みたいだ」であって「嘘のようだ」ではないと思いますが、このことはさておき、「みたいだ」という助動詞はその前のかたちがあり、それは「みたようだ」です。この「みたようだ」から「みたいだ」に移行していったのが明治時代の中ごろと思われるので、今は、その時期に書かれた小説を中心として調査しています。